



第72号 2006年11月

発行:萩ネットワーク協会
 〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
 TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458
 萩ポータルサイト「萩・情報の駅」
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

萩は江戸時代の地図がそのまま使える町です。まちじゅうに近世の都市遺産を見ることができる屋根のない博物館（まちじゅう博物館）です。美しく歴史ある景観・町並みが今に残り、そこに人々が巧みに住みこなし、この町並みは萩の人々が長い年月をかけて守り愛してきた萩の風情（財産）です。

日本の情緒、文化の象徴としての着物。着物の似合うまち、それは忘れられた、日本らしい美しい町です。かつてそうであったように日本人の心に響くまちとして、“日本の心のふるさと”を目指します。

10月1日から8日まで堀内・呉服町界隈で開催された「着物ウィーク in 萩」。表紙は着物フォトコンテストのグランプリ作品「さわやか」（撮影は萩市橋本町の伊東孝子さん）。

着物が似合うまち宣言！



映画「長州ファイブ」	2
萩出身4人の宰相	3
ふるさと文学散歩⑤萩のもんかきや	4
ズームアップ「藤田博文」	5
故大庭政雄、清水明人	6
ふるさとの隠れた名品	7
同窓会だより	8

目次

浦上敏朗氏、萩合唱部	9
須佐、見島、阿武町の話題	10
店紹介「花・味兆、青山」	11
夢追人「吉村玲子」	12
萩ものがたり近刊	13
情報アラカルト	14
旬の味覚便り「月日貝」	15

松陰神社でヒット祈願

～ 五十嵐監督ら一行 ～

10月28日の県内先行上映を前に、27日、前田登製作委員長、五十嵐匠監督、前田倫良さん（遠藤謹助役）、三浦アキフミさん（伊藤博文役）が松陰神社を参拝し、映画のヒットを祈願しました。折りしも10月27日は吉田松陰の命日にあたります。

その後、一行はアトラス萩店（御許町）でトークショー（写真）を行い、来店客に映画をPRしました。



幕末期、英国に密航し、帰国後に近代日本の礎を築いた長州藩の5人の若者たち（伊藤博文、井上馨、遠藤謹助、山尾庸三、井上勝）の青春群像を描いた映画「長州ファイブ」。

10月21日から29日まで、六本木ヒルズを中心に開催された第19回東京国際映画祭の「日本の映画・ある視点」部門に選ばれ、22日、23日に六本木ヒルズのTOHOシネマズで上映されました。

19回東京国際映画祭の「日本の

映画・ある視点」部門に選ばれ、

22日、23日に六本木ヒルズのT

OHOシネマズで上映されまし

た。

長州ファイブは、10月28日に

山口県内と福岡県の映画館で先

行上映され、来年1月に正月第

2弾として全国ロードショーの

予定です。

東京国際映画祭に登場！ 映画「長州ファイブ」



長州ファイブの ロケ地を巡ろう！

映画「長州ファイブ」では、萩市がロケ地となり、熊谷美術館、旧萩藩校明倫館・有備館、旧湯川家屋敷、旧久保田家住宅、笠山虎ヶ崎などで撮影が行われました。

萩に帰省された際は、ロケ地めぐってみましょう。



熊谷美術館（今魚店町）

土蔵相模の芸奴楼・相撲屋の設定。藩士たちが、英国公使館焼き討ちを謀議するシーンとして撮影されました。



旧萩藩校明倫館・有備館（江向）

井上馨は、山尾庸三と剣を交わし、仲間に引き入れる。有備館は、他国からの剣術士の修行者との試合場でもあった。



旧湯川家屋敷（川島）

京都の祇園を芸奴や町人たちが行き交う雅なシーン。清流・藍場川には美しい錦鯉が放流されています。



笠山虎ヶ崎（越ヶ浜）

映画の冒頭シーン、島津藩の大名行列に遭遇した異人に藩士が斬りかかった生麦事件を撮影。厳寒の中、参加した地元エキストラは延べ160人。



旧久保田家住宅（呉服町）

佐久間象山から兵法の教えを受ける井上馨と伊藤博文。明治時代に、名士の宿舎でもあった久保田家住宅を使用。



安倍晋三首相 長州8人目の宰相に！

9月26日、衆参両院本会議の首班指名で、山口県（油谷町）出身の安倍晋三氏が第90代内閣総理大臣に就任しました。山口県出身の宰相は、伊藤博文、山県有朋、桂太郎、寺内正毅、田中義一、岸信介、佐藤栄作の7人が歴任しており、安倍首相は8人目。

これまでの長州7宰相の中で、萩出身の伊藤博文、山県有朋、桂太郎、田中義一の4人はどんな人物だったのでしょうか。

安倍首相 所信表明演説

松陰の教えで教育再生

9月29日の衆参両院の本会議で、安倍晋三首相が就任後初の所信表明演説を行いました。

演説の中で、首相が重要課題の一つに掲げている「教育再生」について、「教育の目的は、志ある国民を育て、品格ある国家、社会をつくることである。吉田松陰は、わずか3年ほどの間に、若い長州藩士に志を持たせる教育を行い、有為な人材を多数輩出した。小さな松平村塾が『明治維新胎動の地』

となった」と述べました。小泉前首相も、今年1月の施政方針演説で松陰の言葉を用いて、改革への決意を強調しましたが、安倍首相も、松陰の教えにより、教育再生への強い意欲を示しました。改革が求められている21世紀、「吉田松陰の教え」がますます求められています。
*（注）正しくは、士分の者も足軽の子も平民の子も差別のない教育を行った。



山県 有朋

1838～1922年、川島出身

久坂玄瑞の紹介で松平村塾に学ぶ。兵部大輔として軍政に力を入れ、徴兵令を制定して国軍の基礎を築くなど軍部の中心人物に。

1889(明治22)年、51歳で総理大臣に就任。近代的な官僚制、地方制度の生みの親であり、1,210日(2次)の在任中、教育勅語を發布。



伊藤 博文

1841～1909年、旧熊本郡大和町東荷・現光市出身

松平村塾で尊皇攘夷の思想を身につけた「長州ファイブ」の一人。1985(明治18)年、44歳で初代総理大臣に就任、以後、4回も組閣。在任は2,720日にも及んだ。憲法の起草を發布。アジア最初の立憲政治体制の生みの親であり、最初の議会政治家でもある。1909(明治42)年10月、ハルビン駅頭で凶弾に倒れた。



田中 義一

1864～1929年、呉服町出身

原敬内閣の陸軍大臣としてシベリア出兵、陸軍大将に昇進。1927(昭和2)年、63歳で総理大臣に就任。「おらが宰相」と呼ばれて大衆的人気を博す。1929年、関東軍による張作霖爆死事件の責任をとって退陣。在任805日。長男の龍夫は県知事、文部大臣等を歴任。



桂 太郎

1847～1913年、平安古町出身

山県有朋の懐刀として活躍。1901(明治34)年、53歳で総理大臣に就任。「ニコポン宰相」と呼ばれ、西園寺公望と交代で首相を務めたため「桂園時代」と称される。総理在職2,886日(3次)という戦前戦後を通して長期政権記録を持つ。

全国の魅力的都市 萩市が第30位に！

東京都のコンサルタント会社が10代から60代の男女約2万5000人を対象に実施した「地域ブランド調査」で、全国779市のうち、魅力的な都市の第30位に萩市が選ばれました。トップは札幌市、2位は神戸市、3位は函館市。山口県では、萩市の30位がトップで、次は下関市の59位。

この調査は、ブランド総合研究所が、今年8月、魅力度や認知度、イメージ、居住意欲など約100項目についてインターネットで実施。結果は、自治体の観光や移住促進のための戦略づくりに役立てるといわれています。

同研究所ホームページ
<http://www.tiki.jp>



「萩のもんかきや」と

中野重治



(昭和32年刊)



▲故角川政治氏撮影

「紋付き袴で出かける」などという概念は、現代人にはほとんど死語に近い。

「家紋」となると益々意識から遠ざかるように思う。「葵紋」や「一文字三星」などは辛つじて理解の範囲内と思うが、「菊菱」「八重梅」「抱牡丹」「笹車」「達銀杏」「雁菱」などと並べられると「全体何のことだ」と思ってしまう。「我が家の家紋はさて何だ」専門家に聞くと家紋の数は6000をはるかに越えるといい、それぞれに意味合いとステイタスがある。日本人の生活史の一時期、それは秩序と統制の格好のツールだったように思う。

中 野重治の短編に「萩のもんかきや」がある。そこには戦災に遭わなかった萩の町の昭和30年代の景色が広がっている。

「それは、小さな静かな町だった。松下村塾というのも一昨日

町の様子がすこし変わってき

た。」
そして中野はお成り道に沿う田町の商店街をそぞろ歩きし、今は手芸店になっている小さな店先で釘付けになる。

「そのとき私は妙なものを見た。ちつぽけな店、そこに、ガラス戸の向こうにこつちを向いている女、それがまず目にはいった。(略)右手に細筆をにぎっている。(略)左手には壺のようなものを握っている。(略)右手の筆の穂が、針で突つくとといった式で左手の小壺をちよちよつとつづく。(略)やつとそれが、羽織りか何かへ抱き茗荷をかきこんでいるところだとわかって私はほっとしたが、私はほとんど疲れた。(略)離れる拍子にやはりそこに看板のようなものが出てくるのが見えた。「もんかきや」

木の小さい板に、仮名でそう書いて打ち付けている。
ああ、「も、ん、か、き、や」

それにしても、あんなことで商売が成り立つのだろうか。(略)歩き出した私にもう一つ表札のようなものが見えた。(略)「戦死者の家」「もんかきや」より大分ちいさい。してみると、女は後家さんなのだろう。あの人

が、つまりこの「戦死者の家」の主人なのにながいない。(略)「もんかきや」——言い方が古いだけ、その分量だけ逆にあたりしい辛さがそこから響いてくるようにも思う。(略)私はいくらか急いで歩いていった」

古 い歴史の町萩の昭和30年代。反戦平和を願いつつ生きてきた中野が、軽い気持ちで訪れた萩のまちで目にしたものは、古都の片隅の実に重い光景だったのだ。ほかの作家ならきつと見過ごしたであろう素材

「もんかきや」。
中野は「もんかきや」という時代錯誤するような職業にまず驚かされる。そして戦中、戦後

縮、投影させることで読む人に時代背景と戦争が生んだ何とも言い難い現実を語りかけている。

中 野重治は明治35年、福岡の裕福な家に生まれ、東京大学で同人誌活動に没頭、林房雄や堀辰雄らと活躍した。昭和6年、日本共産党に入

党したが弾圧を受けて入獄、3年後転向して出所した。戦中は評論活動に、戦後は民主主義文学者の結集に努め小説家、評論家、詩人として高く評価された。しかし党活動の方は国会議員としても活動したが、結局路線の対立から除名されるなど波乱の人生だった。

「萩のもんかきや」はこうした経歴に培われた中野ならではの感性によって醸成されたとも言える。ところで、中野と萩は人を介して結びつく。中野と同時代を生き、交友し、衝突もした日本共産党の最高幹部、野坂参三や志賀義雄もまた萩の人の

したので叔母が、そして私が跡を継いでいます。叔母は中野さんが地味な紋書きの作品を作品にしてくれたことをとても喜んでおりました。作品は少し社会的派でしたが、叔母は紋書きにとっても誇りを持っていましたから、その後も中野さんと手紙を交わすなどして交流していました。

城下町の萩は着物文化が盛んで、式服は紋付きが普通でしたから昭和40年代までは大忙しでした。でも年々紋書きは機械仕上げに移行していきますから、やがて伝統的なもんかきやは作品の中だけになるのでしょうか」と話された。

萩 のまちは、中野が散策した昭和30年代と同じだといえは語弊があるが、半世紀を経た今もなお人々の暮らしぶりには歴史の町の気品と奥深さが感じられる。
中野は「もんかきや」という

みた。川の水が澄んでいいる。家並みが低い。大きな家のところに出た。そこは四つ辻で、その家は四つ辻の一角をいっぱい占めている。」こう書くことで萩の町全体の雰囲気伝わってくる。中野の探求心は強い。

「私はなお先へ歩いていった。か。もんかきや、もんかきや：私は、「もんかきや」という言葉を初めてみた。あつた言葉かも知れない。それにしても、あの紋というのは、あんなにして、いちいち人が筆でかくものなんだろうか。何というシンの疲れる仕事。

をつましく必死に生きているこの店の女主人の生き様に心動かされるのだ。「紋」を一つひとつ丁寧に書いてゆく気の遠くなるような緻密な手作業を、その息使いが伝わるまでに克明に描き、その指先に主人公の人生そのものを凝

のである。作中の女主人三隅千恵子さんの姪の節子さん(59)が、場所は変わったものの今も萩市で伝統の技法を守っている。「紋書き屋の仕事は祖父の栄蔵が明治35年に始め、叔父が戦死

珍しい職業と女主人の情景のなかに、自分の思想の変遷の苦悶を重ね合わせたのか、何とも言えないほろ苦い情感を込めて萩の町の一隅を見つめている。余韻のある秀作だ。(高井 誠 エッセイスト 日本ペンクラブ会員)

九州指月会会長

NPO法人キャリア・ライフ・コミュニティ21理事長

藤田博文氏



(福岡市在住、66歳)

私の近況

「教育に飽和点はない！」という信念でグローバルに展開する日本IBMでの教育に関わったことから、東京都世田谷区の松陰神社で松陰先生と再会して25年が過ぎました。10年前に萩にも近い福岡に帰って教育会社を経営した後、NPO法人を設

立して3年です。この間に松陰先生とその門人達の教育的成果を現代の心理学で検証して、日本交流分析学会等で発表してきました。NPO法人では、福岡や広島で中堅リーダー養成講座を提供し、今年には再就職支援セミナーを大分

県労働局から受託して、再チャレンジ塾として中高年の再起を支援しています。会員はニート、フリーター等の若年者のキャリア問題にも関わっており、次年度は団塊世代の地域参加が期待されます。山口県では松陰先生の動機付けに倣って交流分析講座を提供し、地域の社会的起業家(コミュニティリーダー)を支援する「松下村塾21講座」を開設準備中です。

萩の思い出と九州指月会の近況

小学校低学年までは、笠山と明神池が遊び場で、前小畑に移って夏みかん畑の裏は白砂の萩湾でした。一中も萩高も自転車通学で、友人と萩城跡から菊ヶ浜や萩の山河を堪能できました。お陰で北九州、神戸、横浜から福岡に帰ってまでも海に見える住居です。萩にはキャンパスも風光も再チャレンジ教育にうってつけの環境があり、たびたび帰萩して松下村塾21を構想

することが楽しみです。さて九州指月会では役員が若返り、今夏の福岡では新しい参加者が増え、今後はさらに松下村塾のように若手への声かけが課題です。

萩への提言

——松下村塾21モデル都市へ
「萩まちづくり推進懇話会」(福岡会場)での提言の具体化に着手しています。河村元文科相から安倍総裁へと、松下村塾は教育再生・再チャレンジ・地域活性化のモデルとして脚光を浴びそうです。既に志塾を創ることが全国で始まっており、松陰150年忌を期して、町中に「松下村塾21」のモデルをつくる運動を萩から情報発信することを提案します。
NPOでは「吉田松陰と松下村塾」をモデルに今日の地域教育再生と再チャレンジの為の教材と方法を提供します。そこでは①松陰先生の人格の成り立ち②松下村塾での人間教育の方法③高杉晋作、木戸孝允や伊藤博文、山県有朋などのパーソナリティとその成果を交流分析理論で楽しく学習します。今日への適用では④そのモデルを参照して、個人のキャリア・ビジョンの再設計を支援します。⑤地域再生には村塾流+IBMの集団創造技法を活用します。一人ひとりの「美しい国、日本の地域」を創る「21世紀版松下村塾」胎動の地として、萩が現代史に再登場するまたとない機会です。萩市民の草莽(そうぼう)崛起と受け皿パワーを期待します。ご支援と問い合わせは、左記にご連絡を！

■プロフィール
1940(昭和15)年9月生まれ、1959(昭和34)年萩高卒、大分大学経済学部卒、日本IBMで役員補佐営業教育責任者の後、教育会社代表取締役、現在はNPO法人理事長。
■問い合わせ
090-6779-7597
Eメール: fujita_99@hotmail.com

井上剣花坊顕彰会会長

大庭政雄氏



が参列しました。式では、川柳仲間から数多くの弔句が寄せられました。「天国で 剣花坊氏と あいまみえ」「顕彰の句碑を残して 黄泉の途」...

去る9月27日、井上剣花坊顕彰会会長の大庭政雄さん(堀内)が腎不全のため、亡くなられました。つい最近まで、元気に萩の町を自転車ですら走っていられた姿を思い浮かべるに、あまりにも急な訃報に驚いています。

【お知らせ】

ブックレットシリーズ萩ものがたり 第13巻「川柳中興の祖 井上剣花坊」(来年4月発行)が11月開催の国民文化祭に併せて先行販売されます。大庭さんの監修によるもので、剣花坊にかけた大庭さんの情熱が注ぎ込まれた一冊です。

入院される前日の9月11日(井上剣花坊の命日)に川柳仲間と一緒に剣花坊の祖先の墓に参拝、その時も「11月の国民文化祭までには帰って来るから」と笑っておられたとのこと。9月29日に萩市内で盛大な告別式が行われ、川柳愛好家はもちろん、大庭さんを偲ぶ大勢の方々



全国番組レビュー

TV「人生の楽園」に登場!

清水明人さん

(萩市堀内在住、61歳)

- オープニングの清水さん、いい顔してます
- 城下町を清水さんの屋台が通る
- 名人・岡村さん、昭和25年頃から蒸気まんじゅうを焼き続ける
- 岡村さんの蒸気まんじゅう移動販売車

9月23日、テレビ朝日系列の人気番組「人生の楽園」に、この春から屋台ビジネスを始めた清水明人さんが登場しました。

長年勤務した市役所を今春で定年退職、お世話になったこの町への恩返しのため、地産地消屋台による町おこしに取り組みことになった清水明人さん。

番組では、そのきっかけから始まり、慣れない蒸気まんじゅう作りに悪戦苦闘する様子、そして蒸気まんじゅうの餡作りの秘伝を伝授してもらうため、昭和20年代から蒸気まんじゅうを

焼き続ける岡村さん(85歳)のもとに日参する様子がドキュメンタリー風に紹介されました。番組の中では、清水さんに弟子入りし、田町商店街で第2号の屋台営業をする池部さん(25歳)も登場。そして、番組の最後では、頑なに秘伝を隠してきた岡村さんから、餡作りのヒントが清水さんに伝授されました。

番組が放映されたあと、多くの萩出身の視聴者や清水さんご自身の知人からの電話が殺到、蒸気まんじゅうを宅急便で送って欲しいとの声も多く寄せられました。

★プレゼント(15ページ)

蒸気まんじゅうを3名の方にプレゼントします。



懐かしの蒸気まんじゅう

萩出身の方ならどなたもご存知の蒸気まんじゅう。商品は冷蔵パックで、電子レンジやトースターで温めれば懐かしい味が...

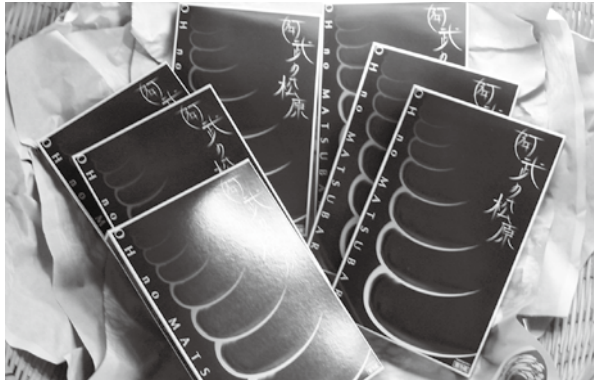
- ① 1枚 80円
- ② 屋台の駅 清水あきんど
0838・25・7032
(FAX兼用)
090・7135・4256



高級貝「バイ貝」を粕漬けに

萩沖の名産「バイ貝」は、見島北方海域の深い海で漁獲されています。このバイ貝を新鮮な状態で粕漬けにした新商品。バイ貝のもつ柔らかい身とクセの無い味、アツアツのご飯との相性は抜群、お酒の肴としても人気があります。商品名「阿武の松原」は、萩菊ヶ浜の古い呼び方。

- ①1箱1,000円 (200g入り)
- ②岡本水産(大井) 0838・28・1170



萩名物ケンサキイカを活きたままお届け

萩名物ケンサキイカの活き造り、これまでは産地萩でしか食べられませんでした。活魚パックシステムの導入により、活きイカのお持ち帰りが可能となりました。試験データでは最長で36時間生存、首都圏や関西方面への宅配も夢ではありません。(10月8日、萩魚まつりにて一杯1,500円でテスト販売を実施。出荷開始時期は来年春シーズンからの予定)

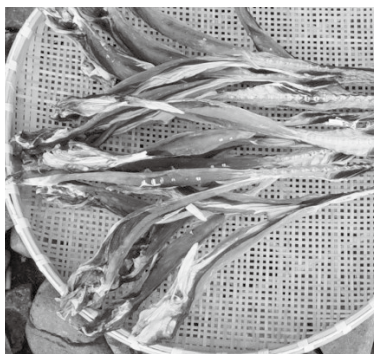
- ①活きイカは450円/100g (時価変動あり) 特殊パック利用料500円
- ②山口県漁協はぎ統括支店 0838・25・0231



かつての萩のお正月の必需品「干しふぐ」

シロサバフグをからからに乾した干物「干しふぐ」は、かつて萩地方のおせち料理の必需品、年末には軒下に吊るされた干しフグが萩の暮の風物詩でした。今では干しふぐをおせち料理に使う家庭は少なくなりましたが、根強い人気があり、毎年12月に、ごく少量を注文生産しています。

- ①1本1,200円～1,500円
- ②大つち(浜崎町) 0838・22・0846



ふるさとの隠れた名品

夏みかん製品や塩干物など、萩には定番の名産品が数多くあります。ここでは、近年の新製品や製造量が少なく一般には流通しない幻の名品を特集しました。各商品とも少量生産で入手が困難な場合があります。参考価格(宅配便送料は別途) ②問い合わせ先を記載していますので、まずはお問い合わせください。

イカの王様アオリイカの一晩干し

イカの中でも最高級種で、イカの王様とも称されるアオリイカ。萩産の大型のアオリイカを一泊仕立ての一晩干しにした希少な一品。一番スルメと呼ばれ珍重されるケンサキイカよりも更に肉厚で深い味わいです。ご要望に応じて注文生産します。

- ①時価 (概ね1杯が1,000円前後)
- ②道の駅/萩シーマート 0838・24・4937



幻の塩ウニ

粒ウニ(練りウニの瓶詰め)といえば、普通アルコールを添加し保存性を高めていますが、生産量が少なく「幻」とも呼ばれる萩の塩ウニは、アルコールを一切使用せず、塩だけで仕上げたまろやかな味。6月解禁の地物バフンウニを使用、半年経った秋が熟成が進み食べ頃となっています。

- ①1瓶2,300円
- ②萩魚(漁協直営店) 0838・24・4937 (内線201)



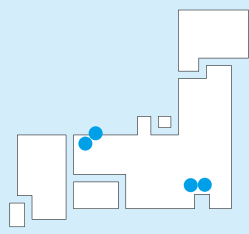
見島牛・見蘭牛のハム・ソーセージ

国の天然記念物指定の「見島牛」と、その交配種の「見蘭牛」を素材に使ったハム・ソーセージ。フジテレビ「うまいもん認定委員会」でも「見島ビーフソーセージ」が紹介されました。見島牛100%のウインナーや、見蘭牛のウインナー・サラミ・ソーセージ・パストラミビーフなど。製造は萩市堀内のミドリヤファーム内の加工場で、すべて手作りの少量限定生産。

- ①ギフトセット 3,000円～
- ②ミドリヤファーム(堀内) 0838・25・1232



同窓会だより



10月14日
東京指月会

日本工業倶楽部(千代田区)

★事務局からのお知らせ

クラス会、同窓会、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。
萩ネットワーク事務局まで、お送りください。
また事前にご連絡いただければ、資料をお送りします。



△羽毛田長官と浦上敏朗氏

約200人出席。現宮内庁長官の羽毛田信吾氏(昭36年卒)も出席され、同期の河村建夫元文科相と共に来賓挨拶。全国コンクールに出演した萩合唱部のビデオ上映に拍手と歓声。来年在東京指月会の40周年記念誌を出版予定。事務局は三浦孝夫さん
川瀬企画内(03・58335・4161)

10月18日
山口指月会
翠山荘(山口市)

約80人出席。東章会長(昭32年卒)が、「毎年開校記念日の10月18日に、先輩・後輩の皆さんと会えるのはとても嬉しい」と挨拶されました。

ピング大会では、参加最高齢の今井さん(昭18年卒)へ最年少の吉松さん(平8年卒)から賞品を進呈する場面もあり、世代を超えて語り合う姿が見られました。
事務局は山口宇部空港事務所 西公男さん(0836・21・5841)



◁引受期(28期・51年卒)で司会を務めた伊藤篤さんと小山朋美さん

10月21日
からたち会関東支部総会

平河会館(千代田区)



33人出席。母校は萩商工が合併されたが、関東地区の同窓会は来年、商業高たちばな会と合同開催に向けて調整中。40周年卒業証が41年卒の波田直登(支部長)さんと水津寿亮さんの2人に授与されました。事務局は桂木忠さん 山城精機製作所内(048・259・2790)



10月14日
たちばな会本部総会

萩商業高校体育館(萩市)

約600人出席。川原輝彦理事長(昭和31年卒)が、「今年4月に萩商工が開校し、一期生210人が入学した」と挨拶されました。
懇親会では、11月の国民文化祭・よさこい大会に出演する団体が踊りを披露し、会場を盛り上げました。
事務局(0838・257・2227)



会員からのお便り

- 上領幹夫(香川県高松市) 小泉首相に同行した河村建夫元文部科学省大臣とは、彼が三見中・萩高、私が指月中・萩商工時代の同期です。共に卓球ではライバルとして頑張りました。私は、貧乏ひまなしで今でも現役として汗を流しています。
- 杉本公恵(福岡県中間市) お墓参りに帰りましたが、萩の町もきれいになってびっくりしています。
- 野崎靖央(東京都世田谷区) 萩ネットワーク毎号拝読しています。「県道・萩川上線」の開通おめでとございます。猛暑に襲われた8月でしたが、お陰様で元気で。7月下旬に
- 中田幸子(神奈川県横浜市) ホームヘルパーの資格を取得。また民生委員もしていて、地域に貢献して頑張っています。
- 西岡茂子(山口県防府市) 萩に通動しています。シブシブは大好きですし、特に、萩の瀬付きアジは美味しいですね。道の駅「萩シーマート」をよく利用しています。
- 柿並久美子(山梨県富士吉田市) 例年になく蒸し暑い日々が続いた富士山麓。9月上旬は、最低気温も20℃以下。気がつけば周りの木々が少しずつ色付き始めています。8月末3泊4日で萩へ行き、新鮮なお魚料理を堪能しました。11月末、再び萩へ。秋の香りの萩が楽しみです。

名誉市民 浦上敏朗先生に感謝！



△三輪休雪さん(左)と歓談する浦上氏(右)



◀記念品として萩焼の陶板が贈られました。「福寿」は人間国宝の三輪壽雪さんから贈られた言葉。

10月10日、萩本陣で「浦上敏朗先生に感謝する市民の集い」が開催されました。

萩市名誉市民の浦上氏（東京都在住、80歳）は、郷土萩の発展と文化振興への強い願いから、数多くの浮世絵をはじめ、中国陶磁、朝鮮陶磁等所蔵される美術品すべてを山口県に寄贈。これを受け、平成8年10月に山口県立萩美術館・浦上記念館が開館しました。市民の集いは、この開館10周年を記念して開催。

浦上氏は、「心の豊かさを養う場として、将来ある子ども感性を育むために、美術館を活用してほしい」と挨拶。体験学習で美術館を訪れた萩西中生徒とその親御さんのお礼の便り、「以降、美術館に通うようになりました。『放てば満てり』を考え、これから前向きに、人の役に立つような人になりたいです」を紹介されました。「私が話した禅の『放てば満てり』という言葉、中学生なりにしっかりと受け止め、考えてくれた。このハガキは大切な宝の一つです」と話されました。

10月9日、NHKホール（東京都渋谷区）で開催された「第73回全国学校音楽コンクール全国コンクール」に出場しました。このコンクールは、全日本合唱コンクールと並ぶ一大コンクールの一つで、全国各プロックから選ばれた11校のみが出場できる超難関の大会。山口県勢では宇部高以来30年ぶりの出場で、萩高の出場は初。大会の模様はNHK教育テレビで生放送されました。

年優勝していたものの、中国プロック大会で強豪島根県勢の厚い壁に阻まれこれまで出場が果たせませんでした。今年遂に念願の全国コンクールに出場することができました。また、山口県で開催される「国民文化祭やまぐち2006」で、福島県立会津高校が作詞、萩高が作曲した曲を一緒に歌う合同演奏会を開催します。

萩高は、男子15人、女子39人の混声合唱団で、顧問は有富美子教諭。県のコンクールでは毎年

■とき 11月11日(土)午後2時～3時
■ところ 県立萩美術館・浦上記念館

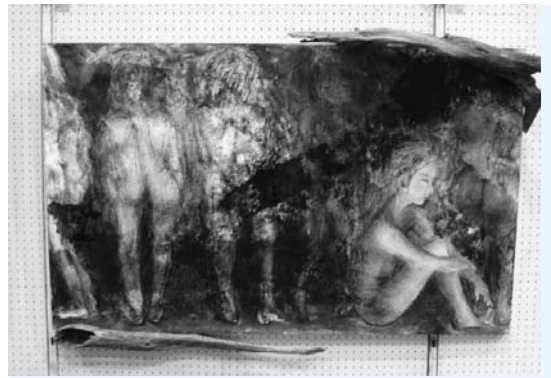
NHK全国コンクールに初出場！ 萩高校合唱部



写真：NHK 提供

新規加入会員ご紹介

- 金子憲司さん (山口県長門市)
 - 山田孝さん (神奈川県横浜市)
 - 山本昌子さん (東京都杉並区)
 - 西川マサ子さん (萩市)
 - 藤田正さん (和歌山県御坊市)
 - 左野博道さん (鳥取県米子市)
 - 上村輝夫さん (山口県山口市)
 - 木村ミチヨさん (東京都大田区)
 - 倉重光宏さん (埼玉県さいたま市)
 - 山根彰さん (萩市)
 - 小野和彦さん (山口県阿武町)
 - 恵美奈大作さん (山口県山口市)
 - 大谷純一郎さん (山口県山口市)
 - 守永義次さん (萩市)
 - 吉松高史さん (山口県山口市)
 - 高杉和典さん (山口県山口市)
 - 山本充二さん (山口県山口市)
 - 俵屋忍さん (山口県山口市)
 - 北島正さん (山口県山口市)
 - 田尾精一さん (山口県山口市)
 - 倉重郁夫さん (山口県山口市)
 - 天河伸太郎さん (山口県山口市)
 - 波多野篤さん (埼玉県和光市)
 - 柳井二郎さん (埼玉県さいたま市)
 - 伊藤孝志さん (埼玉県北本市)
 - 茂刈美穂さん (神奈川県海老名市)
 - 大原武さん (埼玉県所沢市)
 - 松野寿啓さん (神奈川県横浜市)
 - 前野弘幸さん (神奈川県相模原市)
 - 山村興輝さん (神奈川県横浜市)
- (8月24日～10月22日 加入者30人)



萩市長賞「環境破壊」

萩市美術展

川口さん！ 萩市長賞

10月、萩市民館で萩市美術展が開催されました。絵画や書、工芸など144点の応募があり、最優秀の萩市長賞に、須佐（浦西）の川口みきさんの作品が選ばれました。



「川口さん「漁師の妻として、海へ恩返ししたいと、長年考えていた。自然を思いやる気持ちを大切にしていきたい」

見島小学校

全校16人でおにょうず121個の連凧



今年創立121周年を迎える見島小学校。子どもたちが「121個のおにょうずを大空に揚げたい」という夢のような計画を立てました。

子どもたちは、毎年おにょうずは作っていますが、連凧作りは誰もが初めての経験。全校児童16人と教職員、そして地域の皆さんで協力して製作しました。1枚1枚の凧にみんなの願いごとを書き、子どもたちと地域の方々の夢を載せた連凧は、10月15日の「全国凧揚げ大会in見島」で、竜のように生き生きと大空に舞い上がりました。

児童の半分以上ははずれ島を離れますが、子どもたちにとって忘れられない体験になることでしょう。

△「おにょうずぶんぶん121やつぞー」と子どもたちの歓声

無角和牛まつりに6000人 牛肉100kgをたいらげる

日本で阿武町にしかないレアな和牛「無角和牛」をPRするまつりが10月15日、道の駅阿武町で開催され、町内外から訪れた6000人でにぎわいました。無角和牛は4種類いる和牛の1種。大正9年、阿武・萩地区で飼育されていた在来和牛と欧米で一番おいしい肉牛・アバディーンアングスを交配させ誕生した牛で、肉質の良い赤身肉が特徴、肉本来のもつうま味とヘルシーさが自慢です。町の繁殖センターや牧草地など、現在約250頭が飼育されています。まつりには焼き肉4000人分、ステーキ600人分の合わせて100kgの肉を用意しましたが、9時の開始早々に行列ができ、昼過ぎには完売するほどの人気ぶりでした。

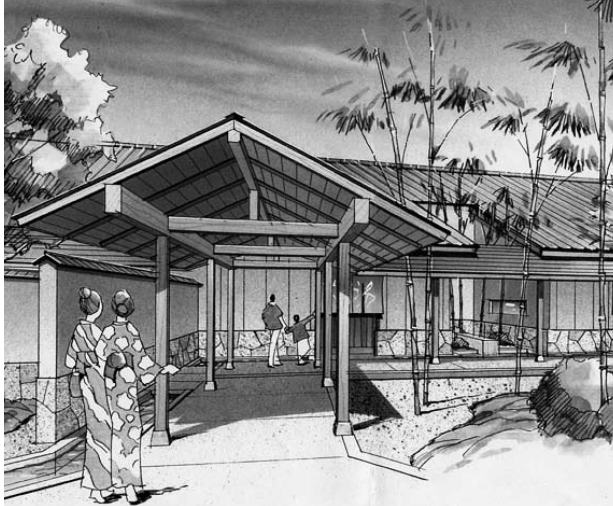
無角和牛は、道の駅「阿武町」(08388・22828)のほか、萩シーマートでも販売しています。皆さんも、阿武町にしかないレアな牛をレアでお試しあれ！

★道の駅「阿武町」では電話での注文、郵送も可能です。ただし、月に1頭しかさばかず入手の肉の部位も限られるため、希望どおりに送るのは難しいとのこと。



角がないのがおいしいシルシ！
阿武町の自然が育てる無角和牛

12月 萩本陣に湯の丸オープン！



12月1日、萩本陣（松本市）に自主源泉を利用した温泉「湯の丸」がオープンします。

萩本陣の地下約2000mから汲み上げられたお湯をふんだんに使った、男女計14種類の西日本最大級の源泉大浴場です。

「湯の丸」は、萩の城下をイメージした開放感いっぱい、2種類の露天風呂が特徴で、指月城の石垣をイメージした「城壁露天」と、萩の土塀をイメージした「土塀露天」があります。

また、アロマ風呂やミストサウナ、気泡風呂など美肌効果にす



▲萩のまち並みを望む「湯の丸」

ぐれた女性にやさしいお風呂もあり、湯屋街として湯めぐりをお楽しみいただけます。ほかに貸切露天風呂、岩盤浴、茶屋「まっちゃん」もオープンします。
※日帰り入浴もできます。
利用料金 900円（午前11時～午後4時）、1200円（午後4時～10時）萩本陣（0838・22・5252）

焼酎 長州

ショーチューのチョーシューファイブ

純秋産の米焼酎誕生！

10月1日、銘酒「長陽福娘」でおなじみの萩市東田町の岩崎酒造から、映画「長州ファイブ」の公開を記念し、米焼酎「長州ファイブ」の発売が始まりました。萩での焼酎製造は初めてのことで、純秋産の米焼酎の誕生です。



江戸時代、防長の**お米は、防長四白**（米・塩・紙・蠟）として上方の市場でもてはやされました。

その防長のお米を原料に、清酒の全国鑑評会で金賞受賞の醸造技術をつぎ込んで、丹精込めて仕込んだモロミを、最新鋭の減圧蒸留機で蒸留しました。

特徴は、豊かな香りとかすかな甘みの味わい深さ。飲み方は冷やかロックがお勧めで、価格



△お店の看板息子「タヌキ」と岩崎さん

は1200円（容量720ml）。「萩でおいしいお酒を作っている酒蔵が作った米焼酎。是非お楽しみください」と専務の岩崎喜一郎さん。

購入申込は岩崎酒造（0838・22・0024）へ

東京・南青山で萩の味を楽しめます 岸田商会

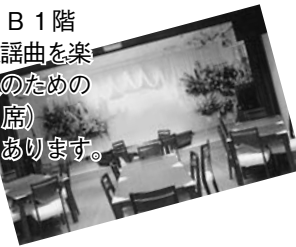
はな みちよう 日本料理 **花・味兆**

(03・3746・2552) 1階
吟味された旬の素材と料理人の技が、四季折々の和食の粋を。
◇ランチ:2500円～
◇夜:コース5000円～
※一品料理もあります。



aoyama **Live レストラン 青山**

(03・3746・2553) B1階
おいしい料理と酒、歌謡曲を楽しむこともできる大人のためのライブスペース。(55席)
※お得なコース料理もあります。



東京都港区南青山2丁目4・4
南青山コアパレス
※地下鉄銀座線の青山一丁目駅から徒歩1分 定休日:いずれも日曜日



東京の南青山に、萩の岸田商会（土原）が6階建てのビルを建設し、8月「日本料理花・味兆」と「Live レストラン青山」が開店しました。
しょう油やポン酢、地ビールはもちろん、萩の旬の魚を直送して、萩の味覚が楽しめます。お客さんからも「築地の魚より新鮮」と好評です。
また、女性も気軽に飲めるように、フルーティーで飲みやす
い地ビールを開発しました。
お店の代表者は、演歌歌手の松前ひろ子さん。松前さんは、北島三郎さんの従兄妹で、萩の観光大使役としても活躍中です。お店では、松前さんのライブを聴きながら萩の味覚を楽しむこともできます。
※萩ネットワークの今年1月号（第67号）、萩の元気企業探訪で、大中隆義専務にインタビューしています。



萩青年の家 所長

吉村 玲子 さん (50歳)

(萩市紫福在住)

この春から「萩青年の家」は指定管理者制度で山口県から民間に運営委託されました。

所長を務める吉村さんにお話を聞きました。

「青年の家」の枠にとらわれず、地域活性の拠点施設として

萩青年の家は、萩城跡の近く、かつては殿様行列が通った御成道沿い、萩藩の重鎮が住んだ武家屋敷ゾーンにあります。今秋公開される映画「長州ファイブ」のロケがこの青年の家前で

あったほど、昔の面影を残した一角です。また豊かな日本海に面する菊ヶ浜や、清流阿武川の流れまで、いずれも徒歩5分の



▲子どもにオリエンテーションの中 吉村さん

立場は初めてです。で、わからないことも多く、とまどいもありました。半年がたつて、ようやく業務にも慣れ、ひとつおこなせるようになってきたところだと思います。萩青年の家の主要業務は、小中高生の

各種団体研修の受け入れ、萩焼体験や海釣り体験、各種レクリエーションなど年間10回程度開催される企画事業の運営、そして自らが企画立案して実行する自主事業。平素は私と2名の専任職員でやりくりしています。

「萩青年の家応援隊」の

募集

着任当初は目の前の仕事に追われる日々でしたが、仕事に慣れるに従って、夢みたいなプランがいっぱい浮かんできました。これまでの「青年の家」という枠組みにとらわれず、地域活性の拠点施設としてこの恵まれた施設・環境を活用したいという想いです。

一つ目は、「萩青年の家応援隊」の募集。これまで一部の方々を除いて、地域の方々にとっても縁の薄い施設だったと思いますが、もっと青年の家に携わりを持って頂くと考えました。具体的にはご自分の知識・経験・技術を、子供たちのための「学びの場」「育ちの場」に活かしていくこと。学校や家庭で学ぶことのできないプログラムを子供たち向けに体験指導してもらい、指導者役を務めることで地域の人も元気になる、そしてそのような方が多くなることで、地域が活性化していくこと

の一助になるのではないかと思います。現在でも、お声をお掛けすれば、喜んで駆けつけてくださる地域の方々も多く、これも萩青年の家のひとつの宝物だと思っています。

萩ならではのプログラムの

開発

二つ目は、NPO法人萩子どもセンター当時から取り組んでいたことですが、子供たちのコミュニケーション能力を高めるプログラムの開発と実施です。人と人の関わりの大切さを学び、周囲の人とともに成長しあうことができるように、自然の中での活動やレクリエーション、ロールプレイングゲームなどを組み合わせた年6回実施のプログラム、「青い鳥プラン」です。三つ目は、市内県内だけでなく、全国から参加して頂けるような魅力的なプログラムの開発。この萩に生まれ育った人間は萩の持つ特別なクオリティに気付かないようですが、萩の持つ歴史・風土・自然は全国から見た場合、とても価値の高いものです。その萩ならではのオリジナル企画を立案し、全国区で参加者募集をしてみたいと思っています。

その他、みんなが元気で笑顔になれる「ニコニコ体操」を



萩青年の家 萩市堀内211-1 (0838・22・4730)

スタッフと考案中で、そのうち大々的に発表したいと思います。自分自身も50歳を越え、元気に活動できる時間も無尽蔵という訳にはいかなくなりました。出る杭は打たれると言いますが、あまりにも出すぎるとかえって打たれないなども聞きます。幸い主人も非常に協力的です。で、ここ当面は思いっきりやってみようと思います。(談)

■プロフィール

1955(昭和30)年8月、萩市紫福生まれ。紫福小、紫福中を経て、萩高校卒業、中央農業実践大学校(八ヶ岳)修了。旧福栄村職員、NPO法人萩子どもセンター事務局長を経て、今年度から山口県萩青年の家に所長として着任。

萩市の社会教育委員などこれまでの経験知識を活かした公職も務める。趣味は読書。

ブックレットシリーズ
萩ものがたり
2006年10月新刊



好評発売中

■購入申し込み・お問合せ先

萩ものがたり編集部
TEL 0838・25・3233
FAX 0838・26・5458
story@city.hagi.yamaguchi.jp

⑪ 「萩の史碑」 500円

一坂太郎(萩博物館特別学芸員)
萩は幕末から明治にかけての日本の近代化をリードした人物を、きら星のごとく輩出した町。彼らの誕生地や旧宅跡の多くには、いまま数多くの碑がある。こうした史碑77基をはじめて集大成し、解説を加えた。史料としても貴重な一冊。

⑫ 「山田顕義」 600円

〜法治国家への歩み
秋山香乃(作家)
松陰門下生。禁門の変では久坂玄瑞らと行動を共にして敗走。維新後は、岩倉使節団に加わって欧米諸国を視察し、西南戦争平定の功により陸軍中将に昇進。第一次伊藤博文内閣のもとでは司法大臣。また日本大学や国学院大学の学祖としても知られる山田顕義の生涯を描く。

特別編
「ますらをたちの旅」
〜長州ファイブ物語

一坂太郎(萩博物館特別学芸員)
初代内閣総理大臣は
密航留学生だった
幕末長州藩は攘夷を断行する裏で、来るべき開国の時代に備え、秘密留学生をイギリスに送り込んだ。のちに「長州ファイブ」と呼ばれる彼らは、さまざま西洋の文化・文明を明治日本にもたらす。パイオニアの役割を担った男たちの志に焦点を当て、幕末の激動を描く長編小説
B6版/216頁
価格 1300円



萩博物館だより

(☎0838・25・6447)

山口県が生んだ

七人の宰相展

井上剣花坊と川柳展

11月2日〜12月10日

山口県から8人目の宰相、安倍晋三首相が誕生したことを記念し、山口県出身の7人の宰相と、萩出身で川柳の改革復興に尽くした井上剣花坊について紹介します。



井上剣花坊

萩博コレクション シンシリーズ・幕末維新の群像②

幕末志士たちの手紙

山根正次コレクション

12月18日〜平成19年4月8日

萩出身の医学者にして、晩年は政界にも活躍した山根正次。その生涯に収集した幕末の志士たちの手紙(書簡)が、ご子孫の好意により萩市に寄贈されました。吉田松陰の書簡など、その名品の数々を一堂に展示します。



山根正次

◎萩再発見ギャラリー

「萩の星雲」 12月25日まで

「昆虫ワールド in 萩」

12月26日〜平成19年2月28日

開館時間 午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)

年中無休

※年末年始も休まず開館します。

入館料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

◎浮世絵展示

「山口県と浮世絵」

11月5日まで

「忠臣蔵」 11月7日〜12月24日

◎東洋陶磁展示

「青磁の歴史」 12月24日まで

開館時間 午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 月曜日

※祝日・休日の場合は翌平日

入館料 一般1000円、学生800円

※70歳以上、18歳以下の方、高等学校・中等教育学校・盲学校・聾学校・養護学校に在学する生徒は無料。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(☎0838・24・2400)

◎特別展示

萩焼の造形美

人間国宝 三輪壽雪の世界

11月26日まで

96歳の今も現役として活躍する三輪壽雪氏の80年に及ぶ陶生活の集大成。

◆三輪壽雪さんの作品(茶碗)

による呈茶(1日先着80人)

とき 会期中の土・日曜日、祝日の午前10時〜午後3時30分
料金 500円(別途観覧料が必要)

◆巡回情報

▽福岡三越 平成19年1月2日

(火)〜14日(日)

▽名古屋・松坂屋美術館 平成19年2月7日(水)〜18日(日)

▽茨城県陶芸美術館 平成19年4月21日(土)〜24日(日)

東方はるかなユートピア

―煙台地区出土文物精華―

12月9日〜平成19年3月11日

山東半島東部の煙台地区の先史時代から戦国時代までの考古学資料約80点を通して、朝鮮半島や日本列島との文化交流を紹介します。

情報アラカルト

関東地区

■東京ちばな会総会

関東地区の萩商業高同窓会。
とき 11月17日(金) 午後6時30分
ところ 東京都港区芝5・21・7 NEC芝倶楽部
(03・5443・1400)

■東京須佐会

関東地区の須佐地区同郷会。
とき 11月18日(土) 正午
ところ 東京都港区高輪4・10・56 日立金属 高輪和彊館
(03・3443・1717)

■萩高13期同期会

とき 11月19日(日) 午後6時45分
ところ 東京都港区 東京湾クルージングレストランシヨップ「ヴァンティアン」

集合 東京都港区海岸1・11・2ホテルアジュール竹芝前
ディナークルーズ乗船場
(03・3437・2011)
■高橋まゆみ創作人形展「故郷からのおくりもの」
萩市の陽信孝さん(元萩市教育長、「八重子のハミング」著者)ご夫婦をモデルにした人形が展示されます。
とき 12月3日(日) まで

ところ 埼玉県入間市二本木100 入間市博物館
(04・2934・7711)

■吉賀将夫作陶展

とき 11月7日(火)〜13日(月)
ところ 東京都中央区 日本橋三越本店
(03・3241・3311)

■栃木秋祭り

萩大使館が出店し、萩物産の販売や観光PRを行います。
とき 11月18日(土)、19日(日)
ところ 栃木県栃木市 とちぎ蔵の街大通り沿い「とちぎ蔵の街観光館」
問い合わせ 栃木市商工観光課
(02882・21・2543)

■アイランド2006

全国の島の祭典で、萩諸島の魅力がPRされます。
とき 11月25日(土)、26日(日) 午前10時〜午後6時(26日は5時まで)
ところ 東京都豊島区池袋 池袋サンシャインシティ文化会館
2階(03・3989・3331)

■萩の陶芸家たち展

―新しき伝統をもとめて―
三輪壽雪から新鋭作家まで萩陶芸家協会員97人の作品を展示。

とき 12月13日(水)〜18日(月)
ところ 東京都中央区 日本橋高島屋
(03・3211・4111)

■岡田裕作陶展

とき 12月12日(火)〜18日(月)
ところ 東京都八王子市 そごう八王子店
(042・624・2511)

■新国立劇場 小劇場

・「リヤ王」鈴木忠志演出
萩市出身の舞台美術家 戸村孝子さん(萩高昭37年卒)が舞台美術を制作します。
とき 12月21日(木)〜23日(土・祝)

ところ 東京都渋谷区本町1・1 新国立劇場
(03・5352・9999)

■萩焼新作親子展

陶芸家 松尾藻風、松尾優子の作品が展示されます。
とき 1月18日(木)〜24日(水)
ところ 東京都中央区 日本橋三越(03・3241・3311)

関西地区

■濱中月村作陶展

とき 11月24日(金)〜30日(木)
ところ 大阪府中央区 ギャラリーKURO

中国地区

■45年の歩み 濱中月村の陶

とき 11月9日(木)〜15日(水)
ところ 広島市南区出汐1丁目 6・12・301 花独楽
(082・251・8750)

■十二代三輪休雪展

―休雪への道―
とき 11月16日(木)〜22日(水)
ところ 広島市中区 天満屋八丁堀店
(082・246・5111)

とき 12月5日(火)〜11日(月)
ところ 岡山市表町 岡山天満屋(086・231・7111)

■日本工芸会山口支部展
陶芸家 岡田裕らの作品が展示されます。
とき 1月23日(火)〜29日(月)

ところ 広島市中区 そごう広島店(082・225・2111)

四国地区

■十二代三輪休雪展

―休雪への道―
とき 1月2日(火)〜15日(月)
ところ 高松市常盤町 高松天満屋(087・812・7111)

第53回日本伝統工芸展

陶芸家 岡田裕 玉村登陽 野坂和左、波多野善蔵、波多野英生の作品が展示されます。
金沢展 11月3日(金)〜12日(日) 石川県立美術館
岡山展 11月16日(木)〜12月3日(日) 岡山県立美術館
松江展 12月6日(水)〜23日(土) 島根県立美術館
高松展 1月5日(金)〜21日(日) 香川県文化会館
広島展 1月24日(水)〜2月4日(日) 広島県立美術館

九州地区

■十二代三輪休雪「愛壺」展
とき 11月22日(水)〜28日(火)
ところ 福岡市中央区天神 大丸・福岡天神店
(092・712・8181)

■萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界
とき 1月2日(火)〜14日(日)
ところ 福岡市中央区天神 福岡三越
(092・724・3111)

山口県関係

■ちばな会・からたち会下関支部総会
下関地区の萩商業高と萩工業

高の合同同窓会。

とき 11月(予定)

ところ 下関市唐戸町 唐戸カ
モンワーフ3階カモンステージ
(08332・29・5641)

■ベアティル・ペアン作陶展
とき 11月1日(水)〜7日
(火)

ところ 下関市竹崎町 下関大
丸(08332・32・1111)

萩市関係

■人間国宝 三輪休和展

三輪壽雪の実兄で、昭和45年
に人間国宝に認定されました。

菊屋家住宅保存会が所蔵する
作品を初めて特別展示。菊屋家
庭園の特別公開も。

とき 12月15日(日)まで
午前9時〜午後5時

※庭園特別公開は11月26日まで。
ところ 萩市呉服町1・1 重
要文化財 菊屋家住宅

(08338・25・8282)
入場料 一般500円、中高生
300円、小学生200円

■望雲 大屋窯 店

大屋窯の濱中史朗、孝子の作
品、大屋窯の器が展示されます。

とき 11月5日(日)まで
ところ 萩市椿大屋 大屋窯

(08338・22・7141)

■俣宿天十平の企画展

・吉川千香子展(常滑の陶芸家)
とき 11月11日(土)〜21日

(火)

ところ 萩市南古萩町33・5
俣宿天十平

(08338・26・6474)
■北國堂の企画展

・食卓に個性が光る陶器たち
「TABLE WEAR OF

HAGIYAKI」

陶芸家 小田光治、内村幹雄
らの作品が展示・販売されます。

とき 11月27日(月)まで
ところ 萩市東田町58 北國堂

(08338・22・7333)

■彩陶庵の企画展

・三輪和彦個展 「Bow
With Light 2006」

スケールの大きなボウル状の
造形4点に水と光で演出。

とき 11月11日(土)〜19日
(日)

ところ 萩市呉服町1・3 彩
陶庵ロフト



(08338・25・3110)

出版情報

■名鑑「萩の陶芸家たち」(再版)

人間国宝から新進気鋭の若手
作家まで116人を収録。アク

セス情報も入った陶芸ファン待
望のガイドブック。

価格 2000円/B5判
発行 隣報社写真印刷

(08332・49・1100)
■「長州ファイブ」

月刊「タウン情報YAMAG
UCHI」で好評連載した物語
をまとめた一冊。

A4判/208ページ
価格 4800円

発行 ザメディアジョン
申込先 山口教科書供給株式会

社(08336・36・7302)
■「わが長州砲流離譚」

古川薫著
海外に持ち去られた長州藩の
大砲を34年かけて探した執念の
記録。B6判/191ページ

価格 1600円
発行 毎日新聞社

■週刊「人間国宝」22号
人間国宝 三輪壽雪と兄であ
る三輪休和も紹介され、兄弟の
人生や作品を対比できる構成。

A4判変型/32ページ
価格 560円

発行 朝日新聞社

■西日本新聞 連載随想
「浪漫陶々」 三輪休雪著

陶芸家 三輪休雪さんの随想。
10月3日から週3〜4回掲載。

「血気盛んだった若いころの
話もあるし、父たちのことも書
いてみた。

余技ではなくエネルギーを注
いで書いている。これも作品だ
と思っている」(筆者の言葉)

■毎日新聞(日曜版)連載小説
「斜陽に立つ」 古川薫著

日曜朝刊別刷り「日曜くらぶ」
(全国版)で連載中。

乃木希典と児玉源太郎を中心
に明治の群像を描く歴史ロマン。

■月刊「東京人」11月号
東京の長州ファイブゆかりの
地が紹介されています。

B5判
価格 900円

発行 都市出版
(03・3237・1790)

テレビ情報

■テレビ新広島「人気もん！」

鶴江の渡しが紹介されます。
放映予定日 11月12日(日)午
前10時54分〜11時24分

放映局 TBS系列(中国5県)
■「ズームイン!!SUPER」

萩城下町周辺や長門峡が紹
介されます。

放映予定日 11月10日(金)、

17日(金)午前5時52分〜5時
56分(2回にわけて放送予定)
放映局 日本テレビ系列(全国)

プレゼント

①清水さんの蒸気まんじゅうの
冷蔵パック(10枚)を3名様に
(6ページ)

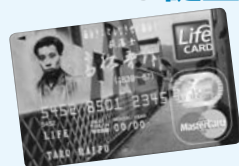
②岩崎酒造の米焼酎「長州ファ
イブ」を3名様に(11ページ)

申込方法 官製ハガキに住所、
氏名、電話番号、ご希望の商品

名、近況などを明記のうえ、萩
ネットワーク協会プレゼント係

まで。締切は11月30日。

「晋作カード」 が誕生



年会費 無料

全国晋作連合会(会員数25
6人)が、信販会社ライフと共
同で「晋作カード」を発行。

カードショッピングによるラ
イフの収益金の一部が、高杉晋

作顕彰事業(銅像建立、資料収
集)に充てられます。表面には
晋作と菊屋横町の写真。

問い合わせ

全国晋作連合会(萩博物館内)
(08338・25・6447)

長州ファイブ

東京のゆかりの地を巡る①

近代日本の礎を築いた長州ファイブ。英国に密航留学後は、東京を中心に活躍しました。それでは東京にあるゆかりの地を巡ってみましょう。



10月29日(日)東京で、長州・大江戸スタンプラリー「長州ファイブゆかりの地を訪ねて」(山口県主催)が開催され、約1,000人が参加。コースを2回に分けて紹介します。なお同日、世田谷区の松陰神社前には「幕末維新祭り」で賑わいました。

旧新橋停車場・鉄道歴史展示室

(港区東新橋) JR新橋駅の銀座口、汐留口より徒歩5分



日本最初の鉄道発祥の地・鉄道歴史展示室も見どころ満載!

井上勝 ~21歳で英国へ密航、鉄道(1843~1910) 庁長官(鉄道の父)となる~

日本最初の鉄道、新橋~横浜間の鉄道開通に尽力した井上勝。鉄道建設の最初の杭が打ち込まれ、この地は新橋停車場として東京の玄関となった。当初の駅舎は関東大震災時に焼失したが、1936年(昭和11年)に再現。

伊藤博文墓所

(品川区西大井) JR横須賀線・西大井駅の東口改札より徒歩5分



かつて近隣は伊藤町と呼ばれていた

伊藤 博文 ~23歳で英国へ密航、(1841~1909) 初代内閣総理大臣となる~

JR西大井駅近くの伊藤家敷地内にある。近隣はかつて伊藤町と呼ばれていた。防長倶楽部(山口県人会)が所有・管理。「大勲位伊藤博文墓所」の石碑と伊藤公銅像があり、毎年命日には墓前祭が盛大に開催される。

長谷寺・井上馨墓所

(港区西麻布) 銀座線・半蔵門線・千代田線の表参道駅A5出口より徒歩15分



各界の著名故人の墓碑が数多く並ぶ

井上 馨 ~29歳で英国へ密航、(1835~1915) 初代外務大臣となる~

1598年(慶長3年)、徳川家康の命で開創したと伝えられる。井上馨のほか、坂本九や盛田昭夫、黒田清輝など各界の著名故人の墓碑が並ぶ。クスノキの一本彫では世界一大きいといわれる菩薩像もある。

※次回、遠藤謹助墓所、毛利庭園、松陰墓所を紹介します。

童謡詩人・金子みすゞが詩に詠んだ

この詩は、萩の隣、長門市仙崎出身の童謡詩人金子みすゞの作。表側が夕陽のような朱色、裏側がお月様のような薄黄色、月日貝の特徴をメルヘン調に詠んだ詩。もちろん、名前の由来もそのカタチと表裏の色から。



山陰日本海の特産で、萩や仙崎沖の砂地で主に底引き網

刺身用には活かしている大型のもの。火を通す料理の場合、殻を開いたパックのものでもOK。旬は秋~冬。

西のお空はあかね色
東のお空真珠いろ
まるい、黄色いお月さま
日ぐれに落ちたお日さまと
夜明けに沈むお月さま
逢ったは深い海の底
ある日漁夫にひろわれた
赤とす黄の月日貝

貝柱の部分は刺身で美味。またホタテ貝と同じくコキールで食すのも豪華。そして一番のお勧めは、酒蒸し、月日貝のも持ち味がもつとも引き立つと思います。

秋発 旬の味覚便り

月日貝 - つきしがい -



月日貝、金子みすゞ

で漁獲されます。あまり大量に獲れる貝ではなく、萩の産地でも時々見かける程度。流通に乗って都市部市場に出ることは極めて稀、その意味でも希少な貝。筆者自身も萩に来てはじめて出合った種類で、食べたのも初めて。

▽お勧めレシピ
味のイメージは帆立貝に似ています。ただし、生で活かしている状態の新鮮なものを調理しますので、そのプリプリ感や歯ざわりは、冷凍のホタテ貝などとは別格。ほのかな甘みもこの貝の特徴です。